

## 平成 26 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地病院実習

実習生：大谷 昇平

実習先：国民健康保険 平戸市民病院

実習期間：平成 27 年 2 月 2 日（月）～2 月 27 日（金）

実習生感想：

平戸市民病院での実習を終えて

口腔腫瘍治療学 大谷 昇平

平戸には初めて訪れましたが、自然に囲まれ、海の幸も多く、教会など歴史的な建物も認められ、素晴らしい町だなという印象を受けました。

実習期間中は、訪問看護や訪問診療で在宅患者の口腔内診査や口腔ケアをさせて頂きました。近くに歯科医院がなく、また往診を行える歯科医院も少ないため、歯科に行きたくても、歯科受診ができないという現状を知ることができました。今回、歯科で往診に来られている先生にも同行させていただき、院内の嚥下回診や歯科治療を見学させて頂きました。このような往診を行える歯科医院の必要性を実感いたしました。

また、訪問診療や外来見学、出前講座を通して、先生方と平戸市民との繋がりを感じ、歯科もこの連携の繋がりに参加する必要性があると考えさせられました。

1 か月という短い期間でしたが、先生方や看護師、事務の方にも助けていただき、有意義な実習を行うことができました。



「平戸市民病院外観」



「訪問診療時風景」

医科の先生と看護師に同行させて頂き、患者さんのお宅を訪問し、口腔内診察、口腔ケアを行いました。必要に応じて往診可能な歯科医院へ紹介状を作製しました。

すぐ近くが海で、すごい風でした。



「院内での口腔内診察及び指導」

通所リハビリセンターに来られた利用者さんに口腔内診察及び指導を行いました。



「指導医の中桶先生と一緒に1か月間研修を行った医科の研修医の先生」



「実習後オリエンテーションにて」